

事業名	林道保全整備事業
-----	----------

総事業費	9,999 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図	施設の適時・適正な保全対策を実施し、より一層の施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	未舗装林道を年次的に舗装していく。
	成果	未舗装林道を舗装することで、維持管理費のコスト削減が図られ、安全な車両の通行が確保される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	予算確保が限られているため、事業進捗の遅延が懸念される。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	林道については、未だ未舗装区間が多く、車両通行に支障をきたしていることから、年次的に舗装工事を実施している。 令和6年度においては、下西林道及び鹿之峯林道の舗装工事を行い車両通行性の安全を確保した。今後も計画的な事業実施に努めたい。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	舗装を行い、維持管理のコスト削減と車両の安全通行を確保する。
------------	--------------------------------

事業名	市有林整備事業
-----	---------

総事業費	6,710 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図	市有林の健全な育成を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	前年度に実施した地形・収量比数等の現地調査を基に設計し、管内林業事業体に施業を委託した。一部急傾斜等の理由により、計画していた面積を下回ってしまったが概ね計画的に実施することができた。また、次年度実施予定箇の測量を実施した。
	成果	市有林の健全な育成が計画的に図れた。 また、次年度の事業実施がスムーズにできるよう準備を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	令和8年度末までに本市の森林経営計画区域内で16haの施業が必要なため、計画的に施業を進めて行く必要がある。また、地籍調査が完了している場所の施業が完了したため、施業地の選定については、過去の測量野帳を元に復元を行い、境界の確認を確実に行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市有林の健全な育成を図るため、計画的に間伐を行っている。令和6年度も予定された面積の間伐(施業面積4.89ha)を実施した。 また、市有林の大部分が主伐期を迎えている。県と分収林契約を行っていた市有林の一部で主伐及び再造林が実施された。市有林でも主伐や主伐後の再造林等について、財産監理課と協議しながら進めていく必要がある。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	間伐予定箇所の復元測量は、完了したが、民有地所有者との境界確認が完了していないため、境界確認後、速やかに業務の委託を実施する。
------------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	<p>令和6年度 市有林整備事業 西之表団地(西之表市西之表字鬼ヶ澤山内)</p> <p>業務内容 搬出間伐、 施業面積4.89ha</p>

事業名	いこいの森管理事業
-----	-----------

総事業費	447 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図	森林（治山施設含む）としての機能が発揮できるようにする。	
事業の実績 と成果	取組内容	施設の維持管理作業の委託等。
	成果	森林（治山施設含む。）としての機能が維持された。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	現在使用を禁止している老朽化施設（コンクリート造トイレ）の取扱い
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	いこいの森については、現状を踏まえ、水源涵養機能、木材生産機能、保健機能を発揮するための森林整備を目的とした管理として見直しを行い、目的に必要な施設の維持管理、不要な施設の整理縮小を段階的に実施することとしている。 この方針に基づき、令和6年度においても、草払い等施設の維持管理に努めたところである。老朽化施設（コンクリート造トイレ）については、現在使用を禁止しており、次年度において取扱いの方向性を検討する。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	施設の適正管理を行う。 老朽化施設（コンクリート造トイレ）の取扱いの方向性を検討する。
------------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	管理作業後の状況確認

事業名	民有林整備事業
-----	---------

総事業費	4,646 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図	手入れを行っていない民有林の解消を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	令和5年年度に実施した意向調査で林業事業者に経営管理を委託したいと希望のあった森林について、林業経営に適した森林であるかの現況調査を業務委託した。また、令和6年度に国・県の造林事業の対象となった者に対し、査定事業費の10%を支援した。
	成果	業務委託した森林9.7haのうち約68%にあたる6.66haの森林について、林業事業者を紹介した。また、民有林所有者へ、補助金を交付することにより、森林整備を進めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	当初、林業経営に適した森林について、森林組合にあっ旋する予定であったが、民有林整備を実施することが、困難であったため、市内の事業者を紹介するだけとなってしまった。今後、現況調査対象面積も増加していくため、紹介するだけでは森林整備が進まないことが予想される。市が中心となって施業を進めていくことを検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	手入れ不足の森林について、所有者に対し意向調査を行うことにより、所有する森林の経営方法について検討する機会を与えることができた。また、経営管理を委託したいと回答のあった森林については、現況調査を踏まえて林業事業者を斡旋した。今後、林業事業者により適切に管理されると、手入れ不足の森林解消に繋る。今後も意向調査で所有する森林の経営方法について、検討する機会を与えるほか、現況調査を踏まえて、事業者へのあっ旋や市が経営管理を行う手法等について検討をしていきたい。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	アンケートや現況調査をすることにより、民有林の整備に繋げるほか造林事業に対し、補助金を交付することにより手入れ不足の森林解消を図る。
------------	--